

令和5年度第3回知立市男女共同参画推進審議会 会議録

日時：令和6年1月31日（水）

午後3時から

場所：知立市役所 3階 第1会議室

（出席者）7名

稲浪委員、佐野委員、丹羽委員、荒木委員、野村委員、山本委員、加藤委員

（欠席者）3名

押金委員、高橋委員、三浦委員

（市長）

<市長あいさつ>

あらゆる分野で、男性女性、性別に関わりなくご活躍いただく環境が必要であり、課題となっている中で、知立市の第三次男女共同参画プランの中間見直しを昨年度審議会よりしていただいております。本日は答申いただくということで、しっかりと検討をしていきたいと思っております。

1. あいさつ

・会長あいさつ

私共の今回の仕事は、第3次男女共同参画プランの見直しということで、最終案にきたかと思っております。最後の詰め、今後どうするかについてご意見いただければと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

2. 議 題

（1）パブリックコメントの実施結果について

<資料に沿って事務局より説明>

（稲浪会長）

これらの説明に関して、何かご意見ありますでしょうか。加藤委員、ございますか。

（加藤委員）

内容として、直してもいいかと思うところもありますが、他に資料もありますので、市の意見を重視します。

(稲浪会長)

他によろしいですか。パブリックコメントについては、1名だけですか。
では、続きまして、プランの追加見直しについて、お願いします。

(2)「第3次知立市男女共同参画プラン(改定案)」について

【答申】第3次知立市男女共同参画プランの中間見直しについて

<資料に沿って事務局より説明>

(稲浪会長)

前回の会議の結果、パブリックコメントの結果からの修正、対応ですが、いかがですか。

(加藤委員)

非常に表も見やすく、一目でいろいろなことがわかります。男女別で出したのが、非常にわかりやすいです。

(稲浪会長)

男女別に出したのは非常にわかりやすいです。

(丹羽委員)

P.25上の全体に、2017年と2023年の比較があり、2023年の方が男性優遇というところが高くなっていますが、未回答がほとんどなくなっているところに、意識の高まりが感じられます。また、先ほど言われたように、女性と男性とで意識の差があることがよくわかります。そういう見方で見てもらうと良いのではと思いました。意識の高まりを感じてもらえればと思います。

(稲浪会長)

今までの委員会でも出てきましたが、この5年間で雰囲気が変わってきたということがわかり、アンケートにも反映されているかと思います。

(野村委員)

一見すると悪くなっているイメージですが、意識が高まっているということがわかると良いかと思います。

(稲浪会長)

先ほど、野村委員が言ったように、差別だとか虐待だとかを感じていることが増えてきたということは、それに対する関心が高まり、一つ進んだと評価しても良いかと思います。
見直し案全体について、よろしいでしょうか。

最後に、数回の審議会・プランを通じて、感じたことなどを一言ずつお願いしたいと思います。

(荒木委員)

各項目ごとに、職場地域で取り組んでみようということが端々にあり、これを見ることによって考えることができるので、良いなと思いました。

(山本委員)

資料はいいものになっているかと思います。ただ、パブリックコメントが1件ということで、せっかく高まった意識がプランへの関心までに繋がっておらず、もっと多くの方に見ていただく機会が増えると良いかと思います。パブリックコメント自体がハードルが高く、難しいということかもしれませんが、多くの方に関心を持ってもらえると良いかと考えます。

(稲浪会長)

そこは今後の大きな課題です。

(野村委員)

良い冊子になっているかと思います。ただパブリックコメント1件というのはさみしいので、もっと多くの人に見てもらい、もっと活発な議論になると良いかと思います。パブリックコメントについてですと、男女で傾向はありますか。

(事務局)

今回に関しては、女性が1人でした。

(野村委員)

イメージですが、意識の高い男性はもちろん発信されるが、女性の方が言いたいことが多いのに、うまく言葉にできないのではと思います。もっと気軽に意見が言える場があると良いのではと思います。

今更で大変申し訳ないのですが、P27について表がありますが、男女差をわかりやすくするために、年度・男女別で分ける方法があるかと思います。どちらがよろしいでしょうか。2017年におけるの男女の意識の差、2023年における男女の差がわかる表があってもいいかとも思います。

(稲浪会長)

2017年を2023年の前に提示するのは、どうでしょうか。

(野村委員)

P. 29 に関しても、そのように提示してはどうですか。年度で大きく二つにわけて、男女比の割合を出すというのもどうかと思います。

(事務局)

前後のつながりで現在の表になっておりますので、一度検討させていただきます。

(加藤委員)

私からすると、2023 年と 2017 年の差のインパクトがすごいなと感じ、それほど女性が社会進出し、意見を言う事ができるようになっているのだと思いました。

(稲浪会長)

一度並びを変えてみて、検討してください。

(加藤委員)

ただ、一つ表を変えると、すべて変える必要があり、前後のつながりで現在の表になっているので、難しいかと思います。みなさんの意見はどうですか。

(稲浪会長)

それぞれの個性で年度比較を優先したということですか。読んだ方の頭の中で、年度に読み替えてもらえればと思います。よろしいでしょうか。

(加藤委員)

今回の委員会に出せてもらい、女性の良い意見が出てきており、私の中にはないようなカルチャーショックを受け、本当に良い会に出せてもらったと思いました。自分で悩んでおり思っていることを、表現方法が上手く意見しています。私もこの会であったことを妻と共有していますが、妻も私と同じ年代で「女性は男性の後をついていく」という考えがあるように思います。そういった家庭での話し合いも生み出せました。

また、10 代、20 代の意見を言ってくれる人がこの会に参加すれば、もっと違う方向にいったかと思えます。どうしても私のようにある程度人生を経験すると、自分の考えがなかなか変わらなくなるように感じます。ですので、20 代で小さな子どもを抱えている方、今の学校教育の中で、男女は平等だと自分の考えが持っている方を取り入れるなどしても良いかと思いました。

妻と買い物へ行っても、お父さんと子どもと一緒に買い物をする姿を非常に見るようになりました。私たちの世代ではありえませんでした。非常に楽しそうに自然にしている姿を見ます。そういった若い方たち、男性の意見を取り入れたらもっと議論が白熱するのでは

ないかと思いました。

(稲浪会長)

それでは、佐野委員、お願いします。

(佐野委員)

活発な議論がされており、参加していて面白い審議会でした。アンケート用紙についてもみなさま方の意見が盛り込まれて、良い調査になったかと思えます。

この計画についても、多岐にわたる計画が出てきていますが、いろいろな課が関わってきています。総務課、学校教育課、文化課、もちろん協働推進課もですが、いろいろな課が関わらないとできないものになっています。

ちょうど今日が学校の卒業論文の締切りであり、その中で「福祉教育を学校で進めるにはどうしたらいいか」というテーマで取り組んだ学生がいました。上手くいっている自治体では、教育委員会、校長会の協力を得ながら、社会福祉協議会、市役所が一体となり進めています。それはどうしてできるのかというと、市長のマニフェストになっている、自治体全体として取り組むんだという雰囲気があるためであり、ないところだと、社会福祉協議会から教育委員会にいても、理解が得られません。市役所が連携を取りながらというのが非常に重要ということを、私も学生から学びました。この計画を推進していくには、協働推進課の尽力が必要だと思うので、私も期待しています。よろしくお願いします。

(稲浪会長)

他に意見ありませんでしょうか。意見がないようですので、この改定案を審議会として答申することとします。よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(稲浪会長)

ありがとうございます。それでは答申させていただきます。

【答申】

(事務局)

今回の改定案につきましては、3月定例会に議案として提出します。議事による変更につきましては、書面で報告しますので、よろしくお願いします。

(市長)

ご意見ありがとうございます。「性別にかかわらず 個性と能力を發揮し、誰もがいきい

きと輝けるまち」という答申をしていただき、ありがとうございます。最近、LGBTQ についての講演会を聞かせてもらう機会が多いですが、男女共同参画という言葉自体がLGBTQの当事者にとってどうなのかと思うこともありまして、本当に時代の過渡期にあるなと感じております。

さきほど、全庁的に進めるべきと話がありましたが、我々協働推進課は人権ということを主軸にいろいろな政策をおこなっております。また、市長直属の課でもありますので、教育委員会とも連携し、審議会の意見に基づき、全庁をあげて取り組んでいきますので、ご指導賜ればと思います。本日はありがとうございました。

(3) プラン改定後の計画について

(事務局)

<資料に沿って事務局より説明>

(事務局)

最後に協働推進課の事業についてのご相談です。

改定案作成に伴い、市民の方の男女共同参画に関する意識向上のための事業を来年度、一つできればと思います。委員のみなさんのご意見を参考にできればと思いますので、よろしくをお願いします。

課としては3つ考えました。

<「1. 男女共同参画川柳の実施」、「2. 中学生に向けたデートDV講座の開催」、「3. 講演会の開催」について説明。>

以上3つですが、案以外のものでも、こういったことをすれば、男女共同参画の意識向上につながるのではないかなど、ご教示いただければと思います。よろしくをお願いします。

(稲浪会長)

今回の改訂案を具体化するために、今後の進め方が関わってくるかと思います。この3つ以外にも、何かアイデアがありますでしょうか。

(丹羽委員)

質問していいですか。親子川柳もとても面白くて、見っていますが、一般応募となった場合、どれくらいの方の参加が見込まれるか知りたいです。できるだけ多くの方が参加されると良いかと思います。

(事務局)

川柳については前回の実績だと、90弱の作品応募があり、年齢関係なく、20数名が応募していただきました。講演会については、会場規模によりますが、50~100人以内ほどです。

(企画部長)

今までは、川柳などを募集する際は、広報ちりゅうに掲載したり、学校を通じて応募をかけたりますと、多くの方に参加いただけています。ただ、幅広い年齢層から応募いただきたいと思っております、現在知立市の公式LINEの登録者数が人口72,000人を超えて74,000人となっている状況ですので、LINEを使って募集をかけ、賞品など用意すると応募数を確保できるのではと考えております。多くの方に応募していただかないと意味がなくなってしまうので、どうやって応募数を確保するかは、決定後に検討していきたいと思っております。

(丹羽委員)

人が少ないともったいないという思いがあり、講演会でも何とか人を集めないといけないう状況だともったいなく感じます。中学生向け講座だと、子どもたちは必ず聞いて知ることができます。ただ、内容と講師次第かと思っております。

(事務局)

中学生のDV講座については、そういった経験のある方を講師にお呼びしますし、また相談員の方もそういった実績があるということも聞いています。中学生向けで、内容もわかりやすいものでないと難しいかと思っております。

(丹羽委員)

子どもがネットなどを通じて、いろいろなところでトラブルに巻き込まれるケースが多くなっているように感じます。

(企画部長)

今回、DV相談窓口なども目標値からかけ離れた数値になっており、早速今年度から学校にお願いをし、DV相談窓口のパンフレット、カードの配布に協力いただき、すべて配ることができました。ですので、毎年続けていければと思っております。

こういったアンケートをして、中間結果がでると、やらないといけないうことが目に見えてきますので、今回見直しをさせてもらって良かったと思っております。

(稲浪会長)

個人的な意見で、しばらく委員会をやらせてもらっていますが、一番気になっていることが、審議会、形式的な場に出されたものに、少しコメントをして終わってしまう状況です。委員の中に以前県主催のセミナーに受講された方がみえ、現在だと4名です。過去を遡ると、何名くらいですか。

(事務局)

手元に資料がなく、すぐには出ません。

(稲浪会長)

やはり、そういった問題に関心があり、何かしてやろうという意欲を持った方が参加されているかと思います。その方々の、活躍の場がないか、作ることはできないかと思っており、そういった方々で集まりを持ち、企画していただであったり、読書会なり、イベントをやってもらったり、自分達で行動することが必要なのではないかと思います。知立市で輪を広げていくには、そういった方が息をしていくことが必要ではないかと思っていました。今、お二人見えておりますが、いかがですか。

(荒木委員)

きっかけが大事かと思えます。こういった分厚い冊子が置いてあっても誰も見ないと思います。サテライトセミナーであっても、堅苦しい感じがあって、「行くぞ」という気にならず、気軽さがなく、興味が持てる入口が難しいかと思えます。子どもいるんですか、若い人と「一緒に行こうよ」と行けるような雰囲気はどうやって持っていけるのか、興味を持つのが難しい若い人に興味をもってもらうような入口を考えています。

(野村委員)

おっしゃったように、自分から「はい、やります」という人は少ないかと思えます。参加したら、これは人ごとではなく、自分事だったんだと気づく体験が重要だと感じており、それをどうしたらいいかと思うと、講演会などでなく、イベントの方が良いかと思えます。ただ、イベントを開ければ、必ず人が来るかは、難しい問題でもあると思えますし、面白がってもらえるようなものから、始めればと思えます。

(稲浪会長)

良いアドバイスはありますか。

(佐野委員)

伺いながら思っていたのは、みなさん、生活上の困りごとが一番にくるかと思えますので、ママカフェなどだと身近に感じて行くのだけれど、男女共同参画というと、背景になってしまい、課題に直接結びつけにくいということがあるかと思えます。男女共同参画がベースにあり、子育て上の課題、生活の課題があるので、そこを結びつけられると良いのかと思いません。

一般的かわかりませんが、「エンパワメント」という言葉があり、自分が侵害されている権利などに気づき、自分の人生に主体性を取り戻すという言葉がありますが、エンパワメン

トということが共通しているのではと考えております。ただ、男女共同参画という言葉は重く堅苦しいので、何か柔らかい表現でみんなが集まって話す中で、中学生で女の子のエンパワメント、自分の性について悩んでいる子のエンパワメント、子育て中で社会ともっと関わりたいと思っている人のエンパワメントもあるかと思えます。

先ほどの中学生向けのデートDV講座についても、最初は専門家にやってもらうにしても、今後セミナー受講生が勉強をし、講座ができるとつながりができるのではないかとも思いました。

(稲浪会長)

何かテーマを決めて、語る会など広がっていくと、みなさんが関心を持つのかと思えます。

(加藤委員)

私の提案ですが、皆さん言っている様に、全く違う形がいいかと思えます。一つ案として、ちりゅっぴに彼女を作り、二人のやりとりを通じて、啓発を行っていく方法もあるではないかと思えます。

もう一つは川柳と言いましたが、お父さん、お母さんの思いやり活動宣言という応募をしてみ、我が家はお風呂掃除をお父さんがしていますと宣言して、その中から、良いものを表彰するような、そんな宣言をできればと考えます。思いやり活動報告などを、スマートフォンを使って入れてもらい、入れた人にはポイントをあげるなどし、そのポイントが、食堂やスーパーマーケットで対象になるというものです。そういったゲーム感覚でやれると、入口が広がっていいのではないかと思いました。健康推進課のマイレージのように、一年やって、興味を持ってもらうのも良いかと思えます。知立市は、人権宣言をしているので、人気のあるちりゅっぴも絡めて、男女平等につなげていくのも良いかと思えます。また、みなさんの意見を聞ければと思えますし、固い話ではうんざりしてしまうかと思えます。

(稲浪会長)

いろいろな方法で、せっかくある人材を活かしてもらいたいと思えますので、知立市にご尽力いただければと思えます。

(野村委員)

加藤委員のマイレージで浮かんだことですが、旦那さん、奥さんに対する不満をLINEで投稿してもらい、例えば、「何でゴミ出し一つできないんだ」、でも良いかと思えます。その不満を言った方に、ポイントをあげて、不満がいっぱい貯まった方に特典をあげ、それを行うことによって、男性女性が、パートナーのどんなことに不満をもっているのか、もっとこうして欲しいというものが、浮かび上がってくるかと思えます。その意見を収集できるというのもありますし、講演会でも「旦那のしつけ講座」など心理的にお願いするやり方などを

やってもらえればと良いかと考えました。男性に座ってトイレをしてもらう時に、「なんで座ってしてくれないの」というと流されてしまうので、「トイレの蓋を閉めると、金運があがるらしい」と伝えたと、やってくれたというエピソードも聞きました。お願いごとにしても、言い方で変わるので、ポイントが貯まった方に向けて、そういった講座をやるのも良いのではないかと思います。

公式LINEを上手く使えればと思います。

(加藤委員)

面白いですね。不満だとみんな喜んで言ってくれますし、やはり楽しくないと、みんなやらないし、特典がないとやらないのではないかと思います。

(稲浪会長)

どうですか。やれそうですか。

(企画部長)

ご意見いただいたように、難しい名前の講演会をあげても、行きたいという感覚にならないと思いますので、もっと興味が湧くような講演会と仕掛けを作る必要があると思います。今言われたような、不満を訴えてもらって、その方たちに案内をしたりだとか、そういったことも必要ではと思いました。

以前テレビで見ましたが、家事に関する男性と女性の意識の違いについて、名もなき家事としてテレビで取り上げられていました。そういった男性の意識がもう少し変わってくれるような講演会ができたらと思いました。

(加藤委員)

家庭でも、私が「やってやった」というと妻に言うと、妻は「私はいつもやっているが、そんなこと言わないよ」と言われました。男性はそういう自慢するところがあるかと思いません。

(佐野委員)

聞いていて、すごく良い意見だなと感じました。やるかはわかりませんが、批判を集めるだけでなく、そのあとにありがとうと褒める事をセットにすると良いかなと思います。

フィッシュカードというのがあり、教室にカードを置き、カードに友達の良いところを書いて投票する。それは、誰がどれだけ褒められたかがよいのではなくて、たくさんカードを書いた、たくさん友達の良いところを見つけられた人が良いとする。そうすると雰囲気は良くなるので、そういった不満と褒める事をセットでやると、後が気持ちよく終われるのかなと思いました。

(稲浪会長)

面白い意見が出ました。

(事務局)

参考に検討させていただきます。

(稲浪会長)

LINEのポイントに結び付けるというのは、まったく発想になかったです。

3. その他

(稲浪会長)

最後、何かありますか。

(事務局)

先ほど言いましたが、議会にかけさせてもらい、何か話が出たときは、審議会は開催しませんが、修正点を周知させていただきます。また来年度、男女共同参画に関する事業について調査します。4月以降、再度説明しますので、ご意見いただければと思います。

(稲浪会長)

この委員では、あと一回だけですか。

(事務局)

10月までが任期ですので、それまではこの委員でお願いしたいと思います。

(稲浪会長)

以上で本日の予定の議題は終了しました。

(事務局)

本日はどうも貴重なご意見をありがとうございました。これで第3回男女共同参画推進審議会を終了させていただきます。

午後4時20分閉会